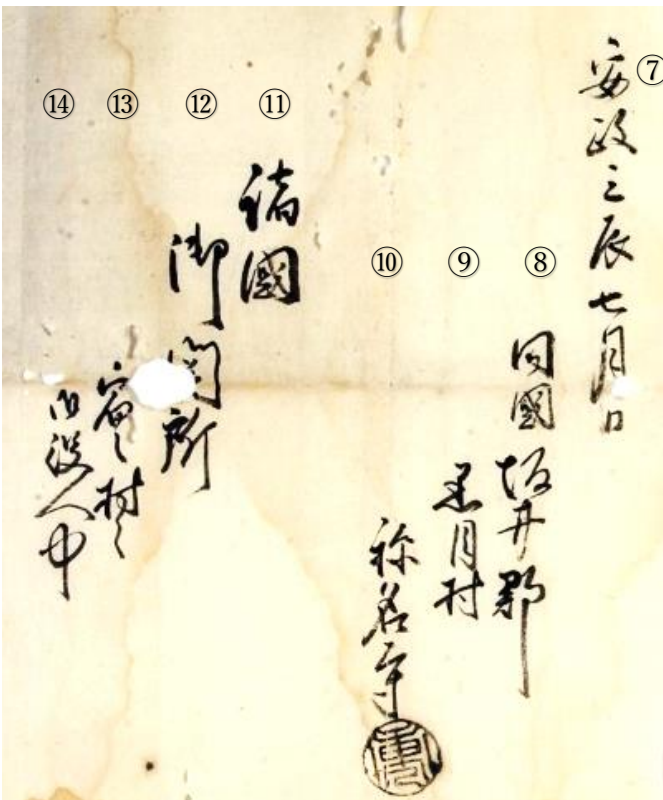


(中略)



①	寺請一札之事
②	—
③	—
④	—
⑤	同
⑥	—

⑦	—
⑧	同国
⑨	—
⑩	—
⑪	諸国
⑫	—
⑬	—
⑭	—

解説のヒント

「松田三左衛門家文書」は、江戸時代に福井市南菅生町で庄屋(村役人)を務めていた松田家に伝わったものです。資料はいわゆる「往来手形」で、江戸時代の旅行許可証(パスポート)です。身分証明書や通行許可証も兼ねており、主に旅行を願った人物の檀那寺が発行しました。

資料の①はタイトル、②～⑥は、旅行する人物についての情報、⑦は年月日、⑧～⑩には発行者である檀那寺の情報、⑪～⑭には宛名が書かれています。

今回は、本文を省略し、人名・地名が多く書かれている部分を抜粋して取り上げました。難しい字も少し含まれていますが、何が書かれているのかを推測しながら解説にチャレンジしてみてください。

お名前またはペンネーム

座学講座のお知らせ

7月5日(日) 12日(日) 19日(日) 23日(木) 10時30分～12時(午前の部) / 13時30分～15時(午後の部)、於研修室、各回定員18名、要申込。 ※午前と午後は同じ内容です。お申し込み時にご希望を伺います